

年 組 名前:

チアダンスで元気届ける



上野原のチーム

15日にeスポイイベントで披露

上野原市民でつくるチアダンスチーム「UP☆Field（アップフィールド）」は15日、山梨市で開催されるeスポーツイベント（15、16両日開催）でチアダンスを披露する。2年前に福祉施設で初めて披露し、同施設の利用者がイベントに出場することから実現した。代表の村井保恵さん（56）は「イベントに訪れた全ての人を元気届けられるようなパフォーマンスを見せたい」と意気込んでいる。

〈飯野 椋平〉



赤池 悠、武田 寛明、森 航平（富士北麓）
飯野 椋平（大井上野原） 森 航平（都留）

チームは市内の子育てサークルが母体になっている。サークルメンバーだった村井さんが、育児が一段落した2022年秋ごろにチアダンスが題材となった映画を見て「自分たちもやってみよう」と一念発起。ほかのメンバーに声をかけてチームを結成し、同年12月から活動を始めた。

子育てから学んだという「一人一人が自分らしさを練習に臨む」「UP☆Field」のメンバーは「上野原市コマアしおつ4丁目」大切にすることを活動理念に掲げる。現在のメンバーは約10人。月2回、大月市内でチアダンス教室を開く松本華奈さん（35）からレッスンを受けている。23年9月に、上野原市の生活介護事業所「Iogune（イogue）」で初めてダンスを披露。その後も市内の地域イベントや大月市の神社の秋祭りなどでパフォーマンスをしてきた。

チームは今回、2月15日のeスポーツイベント内で開かれるバズルゲーム「ぶよぶよ」チャリティ大会のハーフショーでダンスを披露する。出演は、イogueの利用者が選手として大会に出場することがきっかけとなった。村井さんは「障害の有無や年齢に関係なく参加できるeスポーツ大会はチームの理念にも合っている」と話す。

1月27日の練習では、当日披露するダンスの振り付けを音楽に合わせて確認した。村井さんは「上野原から元気を届けられるように本番に向け練習を頑張りたい」と話している。

(2025年2月4日付 山梨日日新聞 18面)

問1 ^{うえのはら}上野原のチアダンスチームは、^{なん}何というイベントでチアダンスを披露ための^{ひろう}練習を^{れんしゅう}していますか。

.....

問2 このチアダンスチームが^{たんじょう}誕生した、^{こた}きっかけを教えてください。

.....

問3 ^{むらい}村井さんは、どのような^{てん}点^いがeスポーツ大会とチームの^{たいがい}理念^{りねん}が合っていると^あ話^{はな}していますか。

.....